

自立支援・重度化防止の取組みについて

資料2

取組目標	評価項目・目標数値	実績	考察及び改善策												
介護・支援を要しない高齢者の割合の維持	75歳～85歳未満の高齢者のうち、要介護・要支援の認定を受けていない人の割合 令和5（2023）年度：82.2% ↓ 令和8（2026）年度：82.2%	R4年度：81.7% R5年度：82.2% R6年度：81.7%	<p>令和6年度の介護・支援を要しない高齢者（対象：75歳以上85歳未満）の割合は、令和5年度（82.2%）から減少したものの、ほぼ横ばいの状況である。</p> <table border="1"><caption>75歳～85歳の高齢者のうち、要介護・要支援の認定を受けていない人の割合</caption><thead><tr><th>年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>81.7%</td><td>81.5%</td><td>81.7%</td><td>82.2%</td><td>81.7%</td></tr></tbody></table> <p>シニアリーダーや通いの場の担い手について、高齢化等により、担い手・後継者不足が深刻化している。一方、全区に医療専門職を配置し、通いの場において、フレイルに関する健康教育や健康相談の実施とともに、健康診断結果から把握したフレイルの疑いがある後期高齢者に対して個別支援を実施した。 今後も引き続き、医療専門職による通いの場での健康教育及びフレイルの疑いがある高齢者への個別支援を全区で実施するとともに、リハビリテーションの視点による、身体機能及び生活機能の改善を図る取り組みを実施する。 また、介護予防の啓発を強化し、住民主体の介護予防活動の促進を図る。</p>	年度	R2	R3	R4	R5	R6	割合	81.7%	81.5%	81.7%	82.2%	81.7%
年度	R2	R3	R4	R5	R6										
割合	81.7%	81.5%	81.7%	82.2%	81.7%										